

## ②武士の世のはじまり・中世の東国動乱の要の地

◆時代：平安時代末期・鎌倉時代・南北朝時代・室町時代（中世）

◆ストーリー：中世を通じて東国の中心のひとつとして存続した。武士の世の歴史ここにはじまる。

- この関連文化財群は、鎌倉幕府成立から室町幕府の東国支配に強く関わる資源の集積として、源頼朝の挙兵、北条時政と政子、鎌倉幕府と北条氏の執権政治、北条氏滅亡と円成寺、畠山国清、関東管領山内上杉氏、堀越公方などに関する文化財で構成される。
- 源頼朝が配流されていたのが蛭ヶ小島（比定地に蛭島碑あり）であり、ここで挙兵した頼朝が最初に襲撃したのが平家方の山木判官兼隆の館で、葦山城跡の東に山木兼隆館跡推定地がある。
- 鎌倉時代に絶大な権力を握った北条氏の本拠地であった守山周辺には、北条氏の館跡である北条氏邸跡や北条氏の氏寺である願成就院跡などが集積し、願成就院には木造阿弥陀如来坐像他、国宝に指定された運慶作諸仏が伝わっている。また、鎌倉幕府滅亡後、北条一族の子女が拠ったところとされる円成寺跡が、北条氏邸跡と同じ場所で発掘調査によって確認されている。また、この時代に関連する文化財が伊豆長岡・江間区域等にも分布している。
- 南北朝、室町時代にも葦山は足利幕府の東国支配の重要拠点となり、関東管領の山内上杉氏が奈古谷に菩提寺として国清寺を建立し、その一帯を伊豆の本拠地とした。国清寺周辺には関連する多くの歴史的価値の高い文化財が分布している。大仁地区には、鎌倉公方足利基氏に背いた畠山国清が立て籠もって鎌倉軍と戦った神益城（金山城）がある。
- 室町時代後期には、東国の混乱を鎮めるために足利政知が下向し、守山区域に本拠地として堀越御所を構えた。
- 本関連文化財群は、守山区域と奈古谷・多田区域を中心に、複数の区域にわたり分布している。

表 10 「武士の世のはじまり・中世の東国動乱の要の地」を構成する主な歴史文化資源

番号	種類	名称	公開の可否	所有者（管理者）	所在地
1	国指定 史跡	願成就院跡	公開	伊豆の国市他	寺家
2	国指定 史跡	伝堀越御所跡	公開	伊豆の国市他	寺家・四日町
3	国指定 史跡	北条氏邸跡（円成寺跡）	公開	伊豆の国市他	寺家・中条
4	国指定 国宝	木造阿弥陀如来坐像 木造不動明王及二童子立像 木造毘沙門天立像 附 五輪塔形木札	公開	願成就院	寺家
5	県指定 有形文化財	木造金剛力士像	公開	国清寺	奈古谷
6	県指定 有形文化財	木造阿弥陀如来坐像	公開	北條寺	南江間
7	県指定 有形文化財	木造観音菩薩坐像	公開	北條寺	南江間
8	県指定 有形文化財	木造阿弥陀如来坐像	非公開	願成就院	寺家
9	県指定 有形文化財	木造地藏菩薩坐像	公開	願成就院	寺家
10	県指定 有形文化財	牡丹鳥獣文繡帳	事前協議	北條寺	南江間
11	県指定 有形文化財	梵鐘	公開	本立寺	葦山金谷
12	県指定 有形文化財	紺紙金字法華経	事前協議	宗徳寺	長岡
13	市指定 有形文化財	蛭島碑記	公開	伊豆の国市他	四日町
14	市指定 有形文化財	中世在銘石造物群	公開	眞珠院	寺家
15	市指定 有形文化財	釈迦如来坐像	公開	国清寺	奈古谷
16	市指定 有形文化財	弘法石	公開	個人	奈古谷
17	市指定 有形文化財	大日石	公開	個人	奈古谷
18	市指定 有形文化財	蛇石乾元地藏	公開	個人	奈古谷
19	未指定（城館跡）	山木兼隆館推定地	非公開	個人	葦山山木
20	未指定（城館跡）	神益城（金山城）	公開	—	神島



写真8 史跡北条氏邸跡（円成寺跡）



写真9 国宝木造阿弥陀如来坐像  
宗教法人願成就院所蔵



第13図 「武士の世のはじまり・中世の東国動乱の要の地」の関連文化財群の分布